

## 大学生ボランティアチーム

### 「ワクワク学び隊」派遣の成果と課題

～放課後子ども教室の充実・活性化に向けて～



広島県立生涯学習センター  
小早川 かおり

## 1 大学生のボランティア活動への期待

(1) 大学生ボランティアの全国的動向

ボランティア活動の体験について	「ある」65% ※社会福祉系学部、教育学部に多い	⇒ 多くの学生が参加
ボランティア活動のきっかけについて	「自発的な意思で」半数以上	⇒ 積極的に参加
ボランティア活動の満足度について	「満足している」65% ※理由「楽しかった」「ものの見方、考え方が広がった」「友人や知人を得ることができた」	⇒ 楽しんで参加

独立行政法人日本学生支援機構「学生ボランティア活動に関する調査」(平成17年)より抜粋

(2) 大学生のボランティア活動が求められる背景

平成7年 阪神・淡路大震災  
平成23年 東日本大震災  
⇒ 多くの学生が駆けつけた

審議会答申等では・・・

平成14年中央教育審議会答申「青少年の奉仕活動・体験活動の推進方策等について」

平成14年文部省大学審議会中間まとめ「21世紀の大学像と今後の改革方策について 競争的環境の中で個性が輝く大学」

単なる奉仕ではなく、教育経験としてボランティア活動を見直す傾向が年々顕著になっている

(3) 大学教育が抱える現代的課題

即戦力になる人材の育成

・講義・大学生活の中では十分経験できない活動を補う方法・連携先を大学が求めている。

・大学外(社会)で学生が主体的に、自ら望んで活動することにより得られる力とは何なのかを明らかにしてほしい。

注目

## 2 大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」派遣事業の概要

### 県内の放課後子ども教室の現状

地域のボランティアの協力を得て実施  
(活動内容:勉強、スポーツ、伝統的な遊びの体験、高齢者との交流)

課題 地域によっては、ボランティアの確保が難しい

大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」を派遣

放課後子ども教室推進事業

### 大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」の派遣

放課後子ども教室(市町)

- 学びの場  
予習や復習、補習等の学習活動
- 体験の場  
スポーツや文化活動等の体験活動
- 交流の場  
地域の大人や異年齢の子どもとの交流活動
- 遊びの場  
お手玉、けん玉、折り紙などの様々な遊び

要請

派遣

大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」(広島県教育委員会)

<ねらい>  
・放課後子ども教室の活動内容を充実・活性化  
・大学生の社会貢献活動への参加を支援

<メンバー>  
県内の大学生

<チーム>  
23チーム(平成25年2月15日現在)

<活動内容>  
実験、観察、工作など

## 平成24年度「ワクワク学び隊」登録・派遣状況 <平成25年2月15日現在>

- 「ワクワク学び隊」登録状況  
 ☆10大学 23チーム 352名
- 市町への派遣状況  
 ☆128件(16市町)



## 事後アンケート(3段階評価)から

活動に満足している(学生)	84%
活動に満足している(市町教室関係者)	95%
今後も教室で活動したい(学生)	97%
今後も教室に大学生を受け入れたい(市町教室関係者)	99%

### 3 問題意識①

業務を進める中で...

大学生の成長が見落とされがち **注目**



大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」の活動をとおり、大学生自身の**身についた力**についてアンケート結果を基に考察し、放課後子ども教室の充実・活性化を図るための改善方策を検討したい。

### 問題意識②

マッチングを進める中で...

登録チーム数を増やしたい **注目**



県内の大学にも、より積極的にこの事業への参加をアピールしていく必要性があり、事業説明する際の説明材料がほしい。

### 4 アンケート調査の自由記述から見る 大学生の成長

本事業において、ボランティアとして活動した大学生の身についた力をどう検証・分類するか？



#### 「社会人基礎力」を指標に検証してみる

- ・社会人基礎力とは・・・  
 経済産業省が大学新卒者に望む基礎的な力として提示しているもの。多くの大学が、学生に習得させたい力の指標として参考になっている。

学校法人河合塾「体系的な「社会人基礎力」育成・評価モデルに関する調査・研究実施報告書

### 社会人基礎力



経済産業省「社会人基礎力とは」

## 分析の手法

・社会人基礎力としてあげられる3つの能力, 12の要素にしたがって、学生の自由記述アンケートの内容を定性的に分析



・あらかじめ12の要素につながる**キーワードを想定**しそれに当てはまる自由記述を抽出していく手法をとった。

## 分析結果

事業全体を通じ、12の要素に該当する**すべての力が育っている**ことを確認できた。

「社会人基礎力」のキーワード①: 前に踏み出す力

### 前に踏み出す力(アクション)

→子どもたちのために何かしたい

主体性	○活動を広めたい。 ○将来に必要な力を身につけたい。
働きかけ力	○子どもへの働きかけ。 ○子どもへのかかわり。
実行力	○考えていたことができた。

### 主体性

(◇学生, ☆教室スタッフ)

◇たくさん子どもたちにヒップホップの楽しさを広めたい。

◇大学では子どもと触れ合う機会があまりないので、このようなボランティア活動を通して、子どもとの関わり方など小学校教員に必要な力を身につけたい。

★事前に活動案を作成し、熱心に子どもたちに各国の子どもたちの様子を教えてくれた。

★毎回1時間ぐらい前から来て、打ち合わせをし、ピアノの練習などをして、子どもたちが楽しく活動できるように考えてくれる。



**学生が目的を持ち、自ら進んで活動に取り組む力**

「社会人基礎力」のキーワード②: 考え抜く力

### 考え抜く力(シンキング)

→課題を解決して、よりよい活動にしたい

課題発見力	○よりよい活動をしたい。
計画力	○今後の活動を考えたい。
創造力	○参考にする。 ○臨機応変に対応する。

### 課題発見力

(◇学生, ☆教室スタッフ)

◇子どもたちの注意を一気に引き付けるような働きかけ、声かけの仕方や活動の時間配分等の課題が見つかった。

◇今年度初めての教室で、準備が不足していたため、次回はしっかりと準備して臨みたい。

★ゲームの説明を実際に行ってみて、どこでつまずくのが分かった。



**次回の活動にいかすため、ここを改善しよう、ここを工夫しようと課題を明らかにする力**

「社会人基礎力」のキーワード③:チームで働く力

チームで働く力(チームワーク)	
→チームのメンバーと活動の目標に向けて協力したい。	
発信力	○伝える。○説明する。
傾聴力	○アドバイス、意見を取り入れる。
柔軟性	○相手の希望を取り入れる。
状況把握力	○状況を把握し、臨機応変に行動する。
規律性	○社会のルールを守る。
ストレスコントロール	○困ったことが起きた時に適切に対応する。

### 発信力

(◇学生、★教員スタッフ)

◇私たちのサークルには、毎年、ダンス未経験の1年生が入ってきます。子どもたちもダンス初心者が多く、「教える力」をこの機会を通して身につけることができる。

◇仕事の過程を説明する際、低学年の子どもと高学年の子どもとは伝え方を変えなければ理解してもらえないこともあるということに気づかされた。

★丁寧な指導で、子どもたちにわかりやすく指導してもらった。



子どもたちに活動の内容や方法を説明したり、指導する力

## 5 今後の課題 —むすびにかえて—

### ・複数回のマッチング(学びの機会の提供)

★ ステップアップをめざして

### ・大学生を支える教育的支援

★ 県からの教育的支援

★ 市町からの教育的支援

### ・大学生を支える教育的支援

★ 市町からの教育的支援

- 十分な事前打ち合わせ
  - ➡ 安心して活動
  - ➡ 活動内容の工夫
- 活動中の子どもへ支援
  - ➡ 必要に応じた声かけ (子どもへ・学生へ)
- 学生へのアドバイス
  - ➡ 活動に対する評価
  - ➡ 今後の活動へ向けてのアドバイス

### ・大学生を支える教育的支援

★ 県からの教育的支援

- 活動の場の提供
  - ➡ マッチングを進める
  - ➡ 放課後子ども教室の受入れを進める
- 学生へのアドバイス
  - ➡ 活動内容をアドバイス
  - ➡ 「ワクワク学び隊」実践交流会の開催
- ホームページによる情報提供
  - ➡ 活動の様子
  - ➡ 取り組みの様子

放課後子ども教室の充実・活性化

子どもたちの成長

アンケート  
活動の様子

学生の力が  
高まる

アンケート  
活動の様子

市町

教育的支援

県

**広島県立生涯学習センターホームページ「ばれっとひろしま」のトップページから**  
 県立生涯学習センター事業のご案内

**市町職員等研修**  
 県庁内の生涯学習社会教育関係職員等を対象とした職務経験に応じた研修を実施するほか、社会全体の教育力向上を目的とした研修等も実施しています。  
 詳しくはこちら

**家庭教育支援**  
 家庭教育にすべての教育の視点、親子関係や家族関係をもつ視がなものをし、広くまなびの場づくりのため、保護者の力をまなびの学習プログラムを活用した講座を単発・連続で開催し、家庭教育を支援します。  
 詳しくはこちら

**親の力をまなびの学習プログラム** (連絡・親プロ)  
 子育て困難に直面したワークシートを活用し、子育てについて親・人とのつながりや不安や悩み、共感しあうための学習プログラムを活用した講座を開催し、家庭教育を支援します。  
 ワークシートのダウンロードはこちら

**地域の教育力向上 (放課後子ども教室)**  
 放課後や週末等において、地域社会全体ですべての子どもたちの安全で安心な活動環境づくりを行う「放課後子ども教室」が展開しています。  
 詳しくはこちら

**大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」**  
 地元の放課後子ども教室において、子どもたちに豊かな体験活動を提供する大学生のボランティアチーム「ワクワク学び隊」が活躍しています。  
 詳しくはこちら

**ここをクリック!!**



## 参考資料

- ①全国学童保育連絡協議会編集「よくわかる放課後子どもプラン」2007年4月。
- ②財団法人内外学生センター「大学とボランティア スタッフのためのガイドブック」平成13年2月。
- ③佐々木正道「大学生とボランティアに関する実証的研究」2003年6月。
- ④独立行政法人日本学生支援機構「学生ボランティア活動に関する調査報告書」平成18年3月。
- ⑤広島県民ボランティア活動推進会議「学生と地域をつなげる絆づくり事業 学生の地域活動応援プロジェクト活動報告書 平成23年度」2012年9月。
- ⑥日本社会教育学会年報編集委員会「学校・家庭・地域の連携と社会教育」2011年9月。
- ⑦学校法人河合塾「体系的な「社会基礎力」育成・評価モデルに関する調査・研究実施報告書 平成23年2月。
- ⑧青少年の専任活動・体験活動の推進方策等について(答申)  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1287510.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1287510.htm): 2012年11月25日
- ⑨日本経済新聞「大学生のための社会基礎力特集サイト」  
<http://ps.nikkei.co.jp/kisoryoku/about/index.html>: 2013年2月5日参照。